

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
<p>1.</p> <p>審議会情報の積極的な公開と市民参加の保障について</p>	<p>向日市の子ども子育て支援や、都市計画、ごみ問題、コミュニティバス、市民温水プールのあり方など、市民生活に関わる重要なことが様々な審議会で検討されていますが、多くの市民にとって縁遠いものになっています。抜本的な改善が必要です。</p> <p>(1) 審議会を主催する行政部局の基本姿勢は？</p> <p>(2) 審議会情報の公表について見解を求めます。</p> <p>① 審議会の開催案内は、日程が決まり次第、公表すること。</p> <p>② 審議会の資料は、審議会の開催までに、市のホームページに公表すること。</p> <p>③ 審議会情報が一覧でき、情報がいつ掲載されたか市民がすぐわかるように、ホームページの改善を行うこと。</p> <p>(3) 市民の関心の高い審議会について、インターネット配信、録画配信を行なうことについて</p> <p>(4) 審議会の運用状況の公表、チェックを行い、市民参加の保障に不断に努めることについて</p>		
<p>2.</p> <p>国の子ども未来戦略方針の子育て支援施策について</p>	<p>国は次元の異なる少子化対策実現のためとして、こども未来戦略方針を発表し、具体的な施策を示しました。大変重要ではあるけれども、実現には大きな課題があると考えものについて考えを聞きます。</p> <p>(1) 保育士配置基準の改善について</p> <p>1歳児は6対1から5対1へ、4・5歳児は30対1から25対1へと改善することが示されました。早急な改善が必要です。しかし現状でも保育士不足が解消していない本市の公立・民間保育所で、どのように対応していけるのか、現状と対応方針について聞きます。</p>		

	<p>(2) こども誰でも通園制度について</p> <p>0～2歳児のすべての未就園児が、親の就労要件にかかわらず保育施設を時間単位で利用できるようにするといいます。大変重要な課題です。</p> <p>一方で、果たしてどのように対応できるのか、また保育士にとってもさらなる負担の恐れが指摘されています。本市はどのように受け止め、対応していく考えでしょうか。</p>
<p>3.</p> <p>子どもの医療費助成を高校生まで拡大すること等について</p>	<p>子どもの医療費助成に関する国の施策は、一貫してほぼ何もありません。国の「こども未来戦略方針」の具体的施策にも、子どもの医療費助成に関する施策はありません。子どもの医療費助成は、本来は国の施策として行うことが望ましいと考えますが、国の施策を待っているだけでは、子どもの医療費助成は進まないことは明らかです。</p> <p>(1) 通院医療費への助成制度を高校生まで拡大することについて</p> <p>向日市では、高校生の通院医療には、現在全く何の助成もありません。第2回定例会で議会への請願がされたように、市民から高校生までの助成拡大が求められています。通院についても高校生までの拡充を早急を実施するべきではないでしょうか。</p> <p>また、その際必要な財源について、過去の実績から推定した額をご提示ください。</p> <p>(2) 子育て支援施策の一環として、国民健康保険料(国保料)の均等割の子ども負担分を公費で補助することについて</p> <p>①国保料において、なぜ子どもにも後期高齢支援分を負担させているのでしょうか。</p> <p>②市町村の政策として公費による補助を実施することは可能だと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>③その場合に必要となる財源規模について</p>